

MLT Advance 機能強化項目一覧

■対応プロトコル増加 ※ご希望プロトコルch数により価格は異なります。詳しくはお問い合わせください。

最大対応ch数と致しまして **CAN-FD/CAN:16ch** LIN:10ch I2C:2ch CXPL:4ch ISO14230:2ch IE-Bus:2ch SPI:2ch Ethernet:ハードウェア2ch・ソフトウェア8ch(※1) UART:4ch VideoCapture:4ch(※2) に加え、新たに **12V 単線 半二重通信に対応したUARTHD:4ch(※3)** が加わりました。

※1:別売のEthernetオプションモジュールが必要となります。1ch・4ch・8chからお選びいただけます。
 ※2:別売のVideoCaptureオプションモジュールが必要となります。2ch・4chからお選びいただけます。
 ※3:UARTHDはUART Half Duplex を意味します。対応ビットレート:1200 ~ 40000 bit/s

■プログラム送信機能の強化

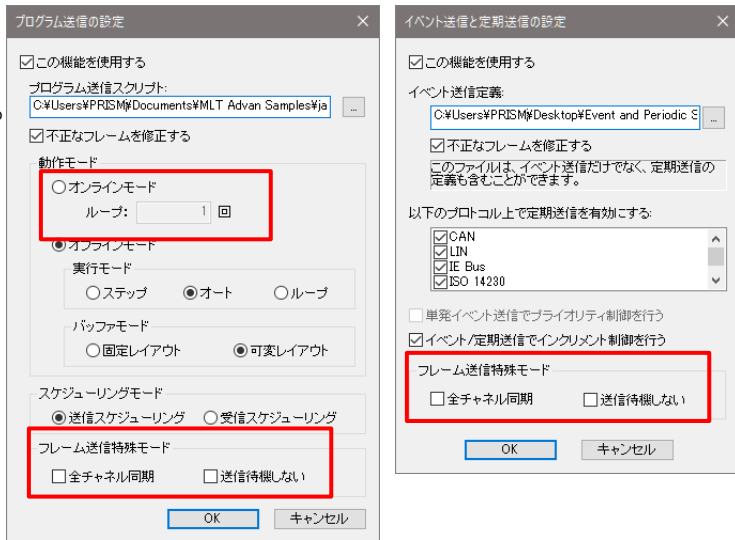
① オンラインモード対応

ハードウェアにデータを順次転送することで、100万行をはるかに超えるフレーム送信が可能となり、長時間 & 大量のフレーム送信を実現

② パルス出力/PWM出力に対応

③ ポート出力の複数ポート一括出力に対応

④ 全チャンネル同期モードと送信待機なしモードを追加
 全チャンネル同期:1つのフレーム定義を複数の通信バスに対して、同一タイミングでの送信が実行可能
 送信待機なし:送信が停滞する場合、その送信を即座にキャンセルして次の送信に進みます。

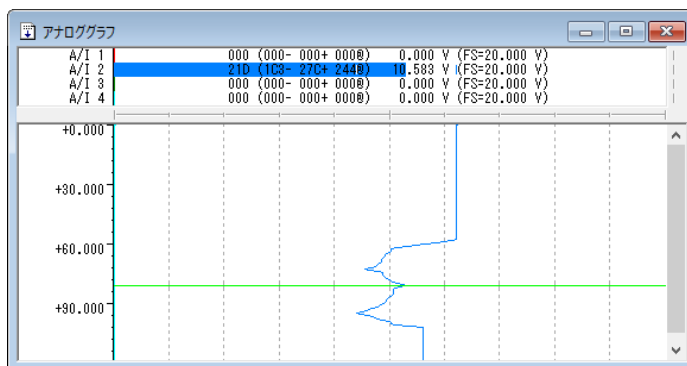
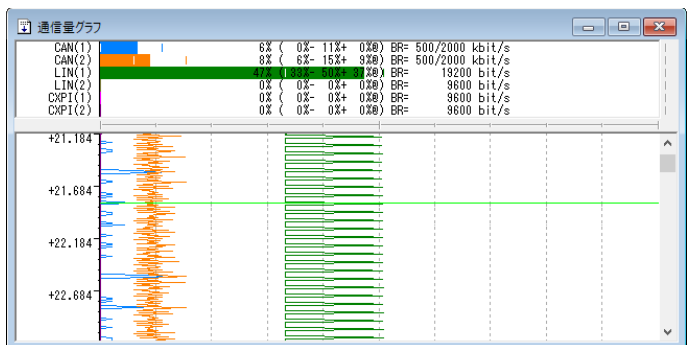


■イベント/定期送信機能の強化

① 全チャンネル同期モードと送信待機なしモードを追加

■グラフ機能の強化

- ① 補助線の表示
- ② 通信料グラフは通信速度表示を追加
- ③ アナロググラフは電圧表示を追加
- ④ カーソル行の同期機能追加
- ⑤ フィールドグラフの多項式の設定をわかりやすく改良



■お問い合わせ

株式会社プリズム 〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15
 担当:杉浦 久美子 sugiura@prism-arts.co.jp TEL:0566-74-4441

※ 説明動画は順次HPへアップロード致します。 <https://www.prism-arts.co.jp/>

MLT Advance 機能強化項目一覧

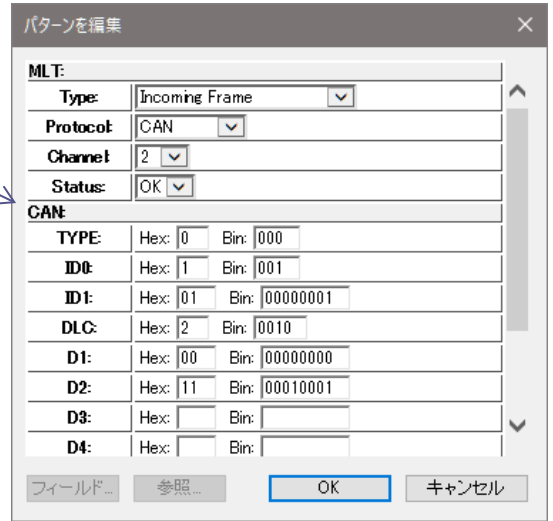
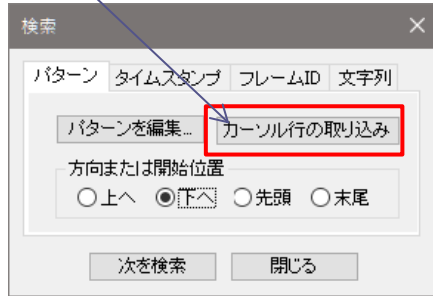
■Navigator機能の向上

① ログイングを制御画面 ポート出力ボタンを追加



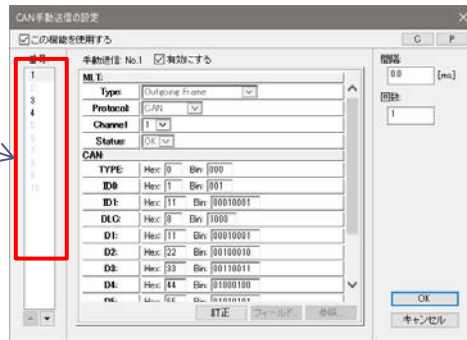
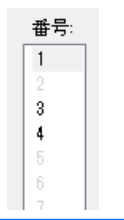
② 検索パターンにカーソル行の取込機能を追加

フレームパターンによる検索を実施いただくとき、カーソル行のフレーム情報を取り込むことができるようになりました。



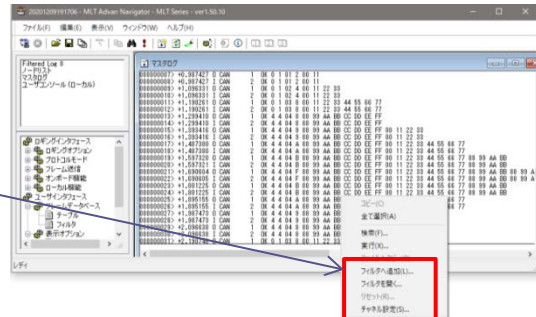
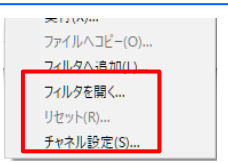
③ 手動送信、応答送信設定画面で設定中の登録番号表示機能を搭載

手動送信、応答送信共に有効化された設定に対しては番号が有効化されます。有効化されていない設定に対してはグレー表示となり、登録状態が一目でご確認いただけるようになりました。



④ ビューのポップアップメニューにフィルタ設定・チャンネル設定を追加

ログ上で簡単にフィルタ設定とチャンネル設定が確認いただけるようになりました。



■お問い合わせ

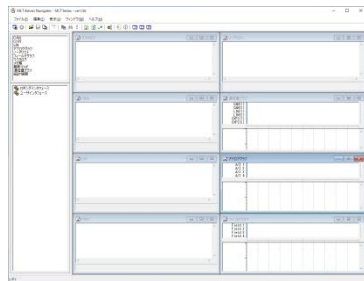
株式会社プリズム 〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15
 担当: 杉浦 久美子 sugiura@prism-arts.co.jp TEL: 0566-74-4441

※ 説明動画は順次HPへアップロード致します。 <https://www.prism-arts.co.jp/>

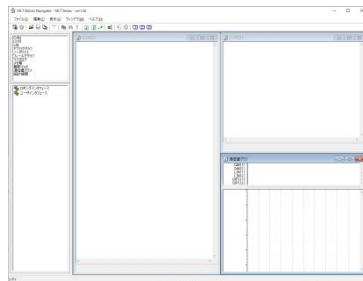
MLT Advance 機能強化項目一覧

⑤ ビューのレイアウトを記憶機能を搭載

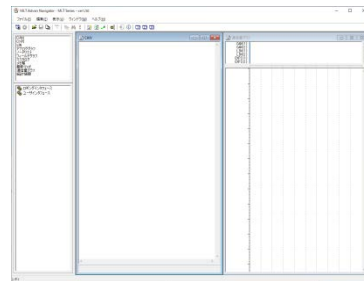
ビュースペースに設定された各チャンネルのレイアウト(位置・大きさ)を記憶することが可能となりました。3パターンまで保存・復元できます。状況に応じて切替ながらログを確認いただけます。



レイアウト1



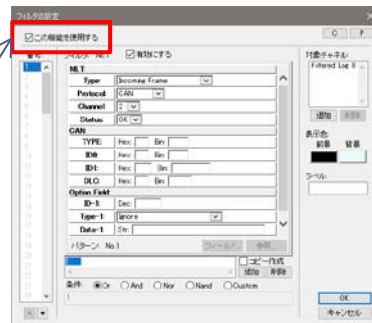
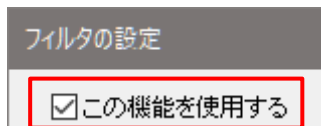
レイアウト2



レイアウト3

⑥ フィルタ機能の有効/無効 設定追加

フィルタ機能全設定の有効/無効を設定します。無効に設定すると、フィルタログチャンネルへは何も表示されなくなり、マスターログチャンネルへは単色での表示になります。Ethernetなどの大容量データをロギングする際にご使用いただくことでロギング性能が向上します。



⑦ マッチしたフィルタの番号とラベルを全表示機能追加

```
00000011> +1.193259 O CAN 1 OK 0 1 03 8 00 11 22 33 44 55 66 77
00000012> +1.193259 I CAN 2 OK 0 1 03 8 00 11 22 33 44 55 66 77 [L=1:]
00000013> +1.303362 O CAN 1 OK 4 4 04 8 88 99 AA BB CC DD EE FF
00000014> +1.303362 I CAN 2 OK 4 4 04 8 88 99 AA BB CC DD EE FF [L=2:CAN FD Rx]
00000015> +1.396566 O CAN 1 OK 4 4 04 9 88 99 AA BB CC DD EE FF 00 11 22 33
00000016> +1.396566 I CAN 2 OK 4 4 04 9 88 99 AA BB CC DD EE FF 00 11 22 33 [L=2:CAN FD Rx]
```

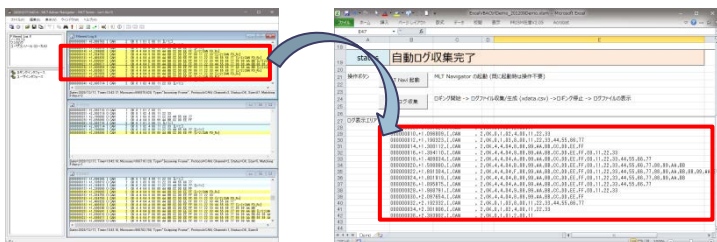
フレームが設定したフィルタにマッチしたとき、フィルタ番号と共に「ラベル」で定義した文字列を表示するようになりました。

```
00000012> +1.193259 I CAN 2 OK 0 1 03 8 00 11 22 33 44 55 66 77 [L=1:]
00000016> +1.396566 I CAN 2 OK 4 4 04 9 88 99 AA BB CC DD EE FF 00 11 22 33 [L=2:CAN FD Rx]
```

ラベルが定義されていない場合は [L=1:] のように、フィルタ番号のみを表示し、ラベルが設定されている場合は [L=2:CAN FD Rx] のように、フィルタ番号とラベルが表示されます。複数のフィルタにマッチした場合は [L=9:/17:/18:] のように「/」で表示されます。 ※ 表示オプションより非表示にすることも可能です。

⑧ MLTコマンダー・外部メソッド呼出機能 サンプルをご用意 ※HPからのダウンロードとなります

MLTコマンダー:ロギング開始と停止、及びログ保存を外部アプリケーションから制御可能な機能
外部メソッド呼出機能:ナビゲータユーザーモジュールから、お客様が用意したDLL内のメソッドをコール可能な機能
これらを組み合わせることで、**自動的にロギング実行⇒フレーム送信⇒検査実施⇒結果出力** するようなシステムが構築可能となります。



Navigator を Excel から制御して自動で結果ファイルを作成

サンプルは下記の流れでExcelから制御しております。

- ①Navigatorの起動(*4)
- ②ロギング開始(*1・4)
- ③フレーム送信(*2)
- ④結果を収集(*2)
- ⑤ロギング停止(*1・4)
- ⑥ファイルへ出力(*3)
- ⑦エクセル上に表示(*4)
- ⑧Navigatorの終了(*1・4)

*1:MLTコマンダー *2:ユーザーモジュール
*3:外部メソッド *4:VBA

■お問い合わせ

株式会社プリズム 〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15
担当:杉浦 久美子 sugiura@prism-arts.co.jp TEL:0566-74-4441

※ 説明動画は順次HPへアップロード致します。 <https://www.prism-arts.co.jp/>